

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2008年9月1日～2023年2月28日の間に虎の門病院または虎の門病院分院で腎生検と腹部MRI検査を受けてIgG4関連腎臓病と診断された18歳以上の方

【研究課題名】

IgG4関連腎臓病のMRI所見と腎病理組織所見の比較検討

【研究の目的・背景】

IgG4関連疾患は、本邦より発信された新しい疾患概念で、免疫異常や血中IgG4高値に加えて、組織へのリンパ球とIgG4陽性形質細胞の著しい浸潤と線維化により全身の諸臓器を傷害する原因不明の疾患です。IgG4関連疾患の腎病変はIgG4関連腎臓病と呼ばれ、特徴的な画像異常所見や腎病理組織所見を示します。IgG4関連腎臓病の画像検査には一般的にCTが用いられますが、MRIを用いることで、CTで認識困難な病変を検出することが可能となるだけでなく、MRIの様々な撮像法を用いることで、腎生検を施行しなければ評価ができない病変の質的な評価が可能となります。しかし、IgG4関連腎臓病におけるMRI所見と腎病理組織の相関関係を調べた報告は限られています。MRI所見と腎病理組織所見の相関関係が解明されれば、疾患の活動性評価を非侵襲的に行うことが可能となり、迅速で最適な治療の指針となり得ます。そこで我々はIgG4関連腎臓病の患者を対象として、MRI所見と腎病理組織所見の相関関係を検討する研究を行うことにしました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年6月26日～2024年3月31日

【単独／共同研究の別】

単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別するこ

とができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院 澤直樹のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査結果、診療記録など

【虎の門病院分院における研究責任者】

腎センター内科 澤直樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023 年 8 月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)